



滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

令和4年第28週（7/11～7/17）【概要版】

令和4(2022)年7月22日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- (1) 感染性胃腸炎は、「例年より多く」報告されています。調理や食事前の手洗いとともに、食品の取り扱いにご注意ください。
- (2) RSウイルスは、「例年より多く」報告されており、特に草津保健所管内で多く報告されています。全国および近隣府県でも増加傾向にあります。
- (3) 手足口病は、東近江保健所管内で警報基準を2週連続で超過しています。
- (4) レジオネラ症は、「例年より非常に多く」報告されています。
- (5) 梅毒は、「例年より多く」報告され、過去最多ペースで増加しています。主に性的な接触により感染する感染症です。予防にはコンドームが有用ですが、完全に予防できない可能性があります。皮膚や粘膜の異常など気になる症状があった場合は、性的な接触を控え、早めに医療機関を受診してください。

2. 報告数が多かった小児科定点把握疾患（五類感染症）ⁱ

(1) 滋賀県

疾病名	滋賀県			保健所別 (iv)									
	2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
感染性胃腸炎	4.14	4.50	4.11		○			多	↑	多	多	多	
RSウイルス感染症	0.50	0.78	1.75		○		↑	多		↑	↑		多
手足口病	0.64	1.67	1.53				↑		↑	警	↑	↑	↑
咽頭結膜熱	0.44	0.33	0.42							多	↑		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.25	0.44	0.39							↑			多

(2) 前週の全国、滋賀県および近隣府県の状況（下線：滋賀県よりも多い）

疾患	全国	滋賀県	大阪府	京都府	福井県	岐阜県	三重県
感染性胃腸炎	<u>4.55</u>	4.50	<u>5.22</u>	3.76	4.22	2.58	<u>4.67</u>
RSウイルス感染症	<u>1.51</u>	0.78	<u>4.33</u>	<u>1.71</u>	<u>1.39</u>	<u>3.83</u>	<u>7.2</u>
手足口病	1.42	1.67	0.54	0.34	<u>4.22</u>	0.15	0.96
咽頭結膜熱	<u>0.38</u>	0.33	<u>0.53</u>	<u>0.58</u>	0.22	0.3	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.4	0.44	<u>0.53</u>	0.38	0.22	0.15	0.24



3. 全数把握疾患（滋賀県、今週診断例）

類型	疾病名	滋賀県			保健所別								
		2週前	1週前	今週	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
二類	結核	4	3	4			1		1		2		
四類	レジオネラ症	2	3	1	○	○					1		
五類	梅毒	0	2	1	○		1						

- i. 定点把握疾患：人口および医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点（医療機関）で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。
- ii. 警：警報発令、注：注意報発令
- iii. 今週の値が過去5年の同時期（全数把握疾患は同時期の累積報告数）の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」を標記（定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用）
- iv. 「警：警報開始基準を超過」、「注：注意報基準を超過」、「多：今週の滋賀県の値よりも多い」、「↑：前週比増加」（「警報」、「注意報」、「多」、「↑」の順に優先して標記）

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

令和4年第28週(7/11~7/17)【詳細版】

令和4(2022)年7月22日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

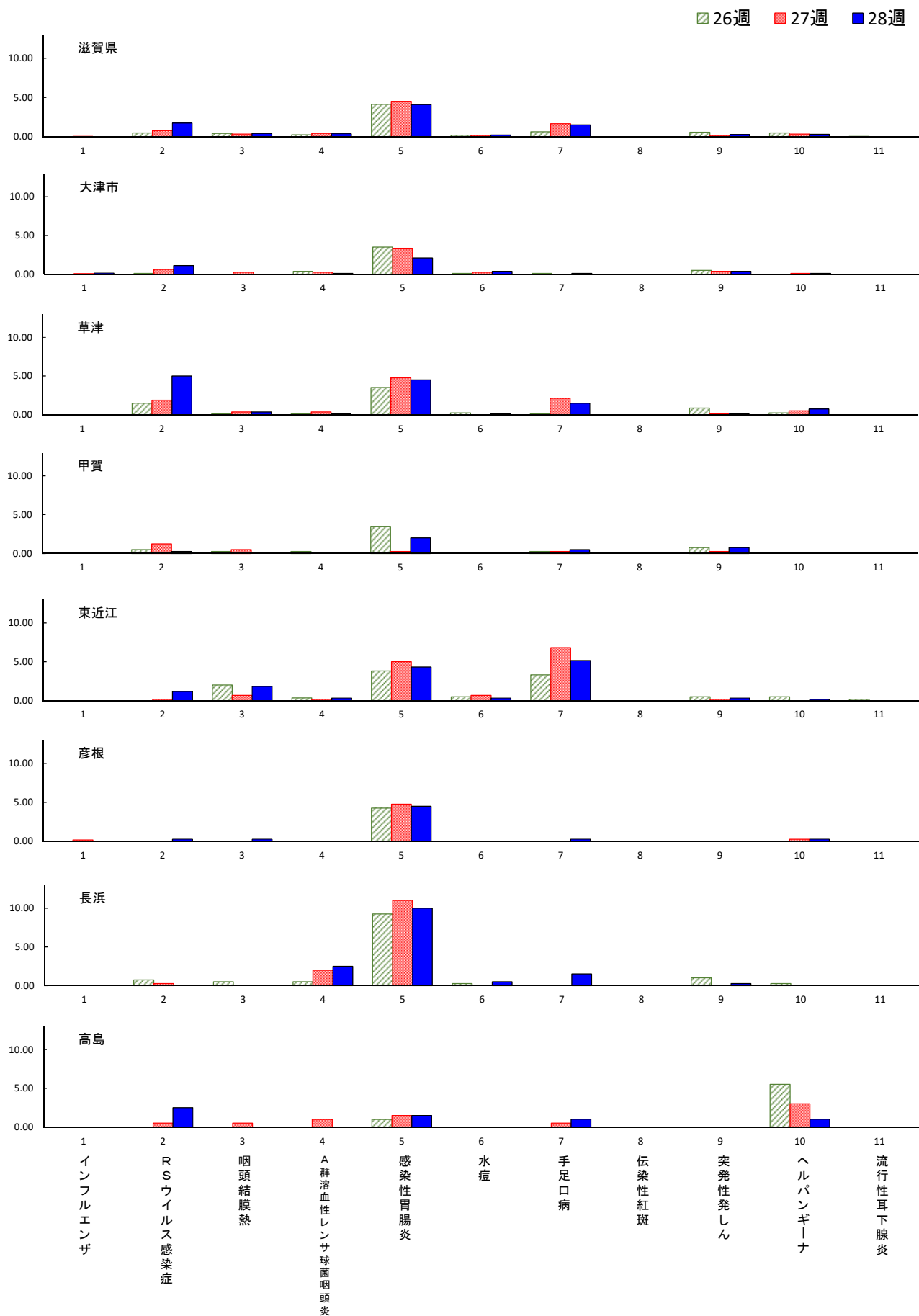
- (1) 感染性胃腸炎は、「例年より多く」報告されています。調理や食事前の手洗いとともに、食品の取り扱いにご注意ください。
- (2) RSウイルスは、「例年より多く」報告されており、特に草津保健所管内で多く報告されています。全国および近隣府県でも増加傾向にあります。
- (3) 手足口病は、東近江保健所管内で警報基準を2週連続で超過しています。
- (4) レジオネラ症は、「例年より非常に多く」報告されています。
- (5) 梅毒は、「例年より多く」報告され、過去最多ペースで増加しています。主に性的な接触により感染する感染症です。予防にはコンドームが有用ですが、完全に予防できない可能性があります。皮膚や粘膜の異常など気になる症状があった場合は、性的な接触を控え、早めに医療機関を受診してください。

2. 定点把握疾患(五類感染症)の定点当たり報告数(全国は前週)の値^{i, ii, iii, iv}

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県					保健所別 ^(iv)							基準値			
		2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大 津 市	草 津	甲 賀	東 近 江	彦 根	長 浜	高 島	全国 (前週) (iv)	警報 開始	警報 終息
インフルエンザ (定点数:60)	インフルエンザ	0	0.03	0.03			0.15	0	0	0	0	0	0	0.01	30	10	10
	RSウイルス感染症	0.50	0.78	1.75		○	1.13	5.00	0.25	1.17	0.25	0	2.50	1.51	-	-	-
	咽頭結膜熱	0.44	0.33	0.42			0	0.38	0	1.83	0.25	0	0	0.38	3	1	-
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	0.25	0.44	0.39			0.13	0.13	0	0.33	0	2.50	0	0.40	8	4	-
	感染性胃腸炎	4.14	4.50	4.11		○	2.13	4.50	2.00	4.33	4.50	10.00	1.50	4.55	20	12	-
小児科 (定点数:36)	水痘	0.19	0.17	0.22			0.38	0.13	0	0.33	0	0.50	0	0.07	2	1	1
	手足口病	0.64	1.67	1.53			0.13	1.50	0.50	5.17	0.25	1.50	1.00	1.42	5	2	-
	伝染性紅斑	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.01	2	1	-
	突発性発しん	0.58	0.17	0.28			0.38	0.13	0.75	0.33	0	0.25	0	0.39	-	-	-
	ヘルパンギーナ	0.47	0.33	0.31			0.13	0.75	0	0.17	0.25	0	1.00	0.34	6	2	-
	流行性耳下腺炎	0.03	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.04	6	2	3
眼科 (定点数:8)	急性出血性結膜炎	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.00	1	0.1	-
	流行性角結膜炎	0	0	0.13			0	0	1.00	0	0	0	0	0.24	8	4	-
基幹 (定点数:7)	細菌性髄膜炎	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.01	-	-	-
	無菌性髄膜炎	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.04	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.02	-	-	-
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0.14	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.00	-	-	-
	インフルエンザ (入院例に限る)	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.00	-	-	-

- i. 定点把握疾患:人口および医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。
- ii. 定点当たり報告数が「警報開始基準値」を超える全ての保健所の管内人口の合計が、県人口全体の30%を超えた場合に滋賀県全域に警報を発令(「警」)します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」を超えた場合に注意報(「注」)を発令します。
- iii. 今週の値が過去5年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」を標記(定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用)
- iv. **赤字斜字**:警報開始基準を超過、**紫字斜字**:注意報基準を超過

3. 定点把握疾患（五類感染症）の保健所別推移（滋賀県、今週と過去2週）



4. 定点把握疾患（五類感染症）の年齢階級別報告数（滋賀県、今週）

インフルエンザ定点 (60医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～	
インフルエンザ	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
大津市保健所	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
草津保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
甲賀保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東近江保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
彦根保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長浜保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高島保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

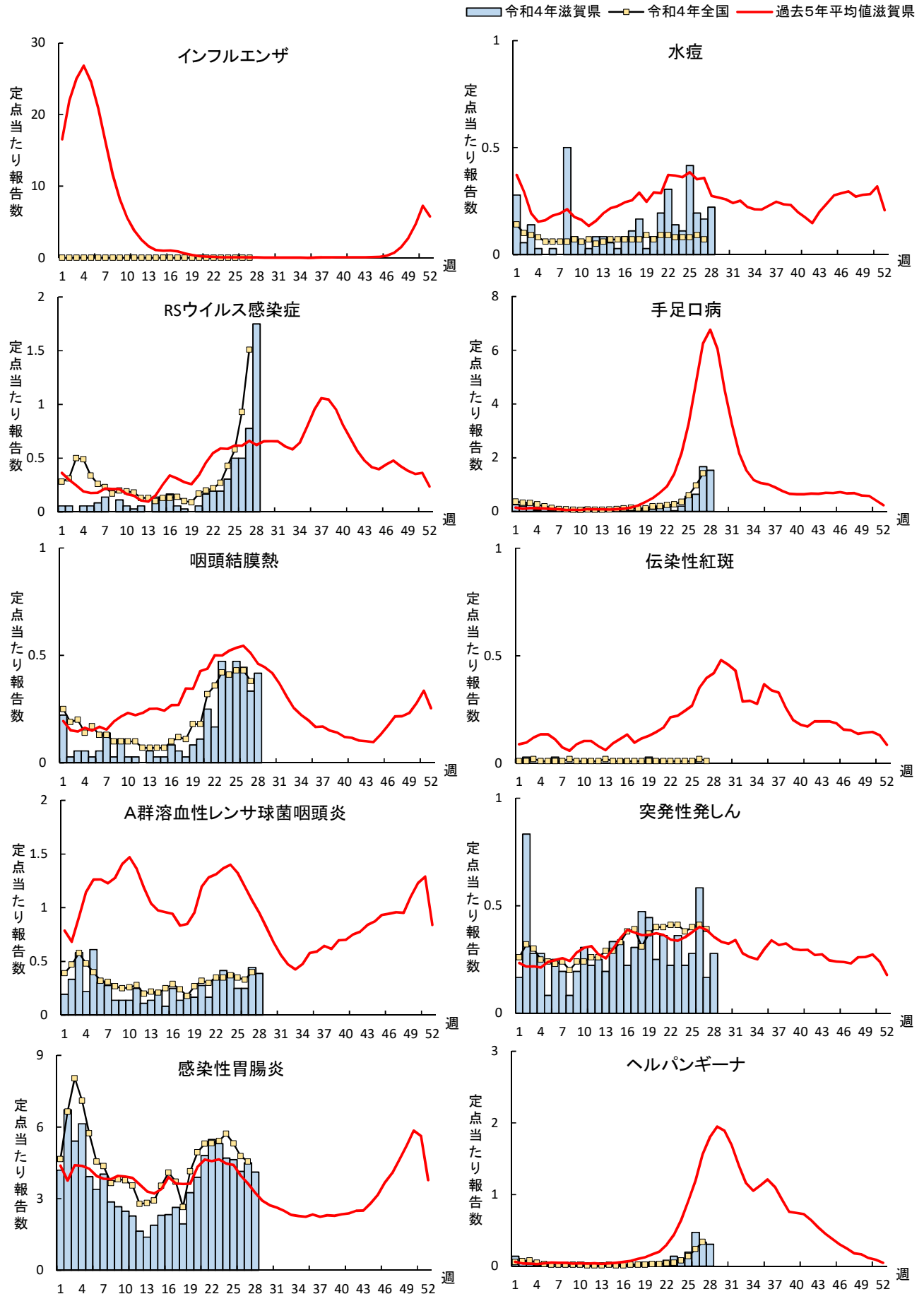
小児科定点 (36医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	63	7	9	13	14	9	8	3	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 (プール熱)	15	-	-	10	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	14	-	-	2	-	2	3	1	-	3	1	1	-	-	1
感染性胃腸炎	148	-	11	22	22	14	28	12	15	7	2	3	7	-	5
水痘	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	3	3	-	-
手足口病	55	-	4	16	20	4	6	5	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑 (リンゴ病)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	10	-	1	7	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	11	-	2	2	1	2	2	-	1	-	1	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

眼科定点 (8医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-

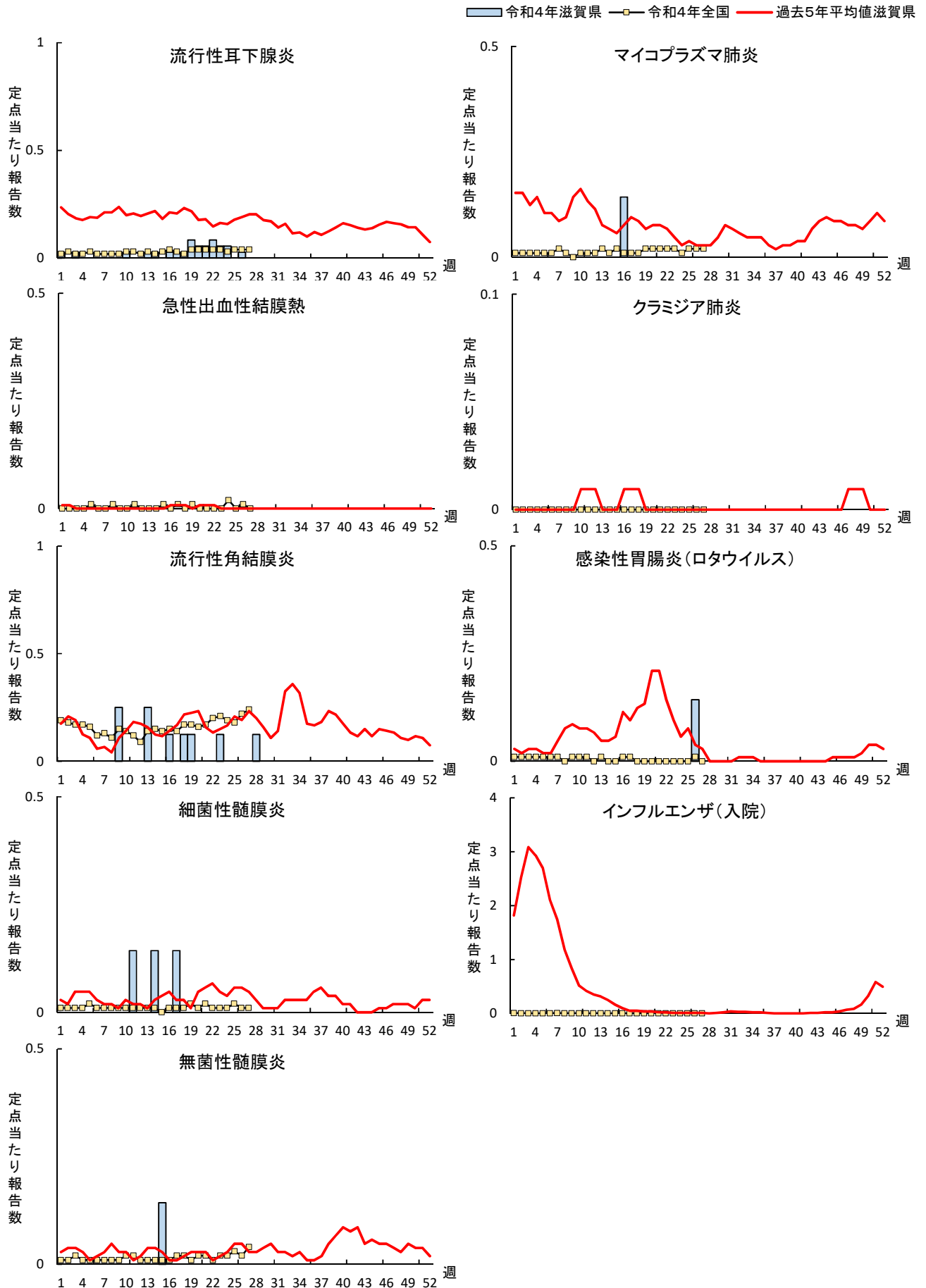
基幹定点 (7医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「-」: 報告なし

5-1. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は前週まで掲載）



5-2. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は前週まで掲載）



6. 全数把握疾患 詳細情報（今週報告例）^v

類型	疾患	診断週	保健所	年齢	性別	病型等	推定感染地	病原体等
二類	結核	27	大津市	40歳代	男	無症状病原体保有者	-	-
	結核	28	大津市	60歳代	男	無症状病原体保有者	-	-
	結核	28	甲賀	50歳代	男	肺結核	-	-
	結核	28	彦根	40歳代	女	無症状病原体保有者	-	-
	結核	28	彦根	80歳代	男	肺結核	-	-
四類	レジオネラ症	27	草津	50歳代	男	肺炎型	県内	-
	レジオネラ症	28	彦根	60歳代	男	肺炎型	県内	-
五類	梅毒	28	大津市	20歳代	女	無症状病原体保有者	県内	-

v. 感染症発生動向調査事業において、一～四類および五類感染症の全数報告対象の感染症が、診断した医師から最寄りの保健所へ届出されています。

今週の注目すべき感染症

■ 梅毒

(1) 梅毒に関する Q&A(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

(2) 梅毒とは(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ha/syphilis/392-encyclopedia/465-syphilis-info.html>

(3) 梅毒 IASR Vol.41 2020 年1月号(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/syphilis-m-3/syphilis-iasrtpc/9342-479t.html>

■ 新型コロナウイルス感染症

(1) 新型コロナウイルス感染症に関する滋賀県の状況について(滋賀県)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryouhukushi/yakuzi/309252.html>

(2) 現在の感染拡大防止対策について(滋賀県)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/bousai/sougo/313693.html>

(3) 新型コロナウイルス感染症にかかる滋賀県内の感染動向等(日報・週報)(滋賀県感染症対策課)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryouhukushi/yakuzi/314006.html>

■ サル痘

(1) サル痘について(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/monkeypox_00001.html

(2) サル痘とは(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/408-monkeypox-intro.html>

(3) サル痘に関する情報提供及び協力依頼について

<https://www.mhlw.go.jp/content/000945942.pdf>

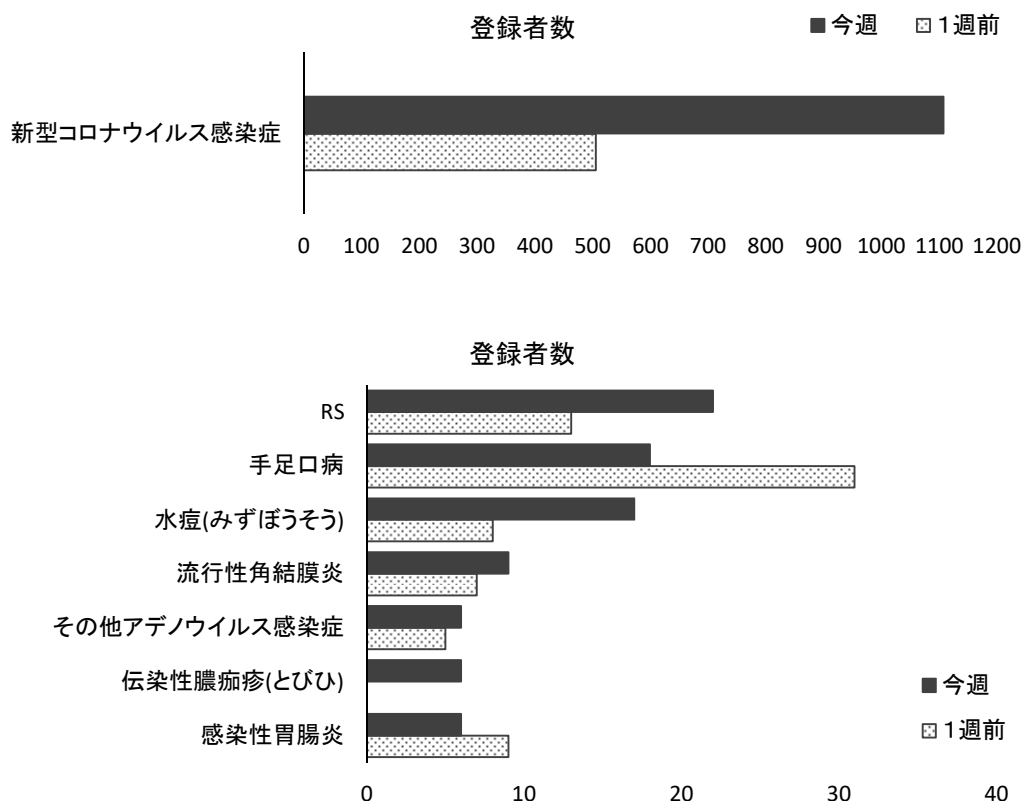
7. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別（令和4年）^{vi, vii}

疾患	滋賀県			保健所別累積報告数							全国 (前週)	昨年累積報告数	
	例年より 多い	例年より 非常に多い	累積 報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		滋賀県	全国
二類 結核			91 6.45	37 10.80	19 5.47	7 4.92	10 4.42	13 8.41	5 3.33	0 0.00	7568 6.03	169 11.95	15799 12.52
三類 腸管出血性大腸 菌感染症			17 1.20	6 1.75	3 0.86	3 2.11	3 1.33	0 0.00	1 0.67	1 2.18	1035 0.82	77 5.45	3220 2.55
四類 レジオネラ症	○	○	19 1.35	4 1.17	1 0.29	2 1.41	2 0.88	8 5.18	2 1.33	0 0.00	910 0.73	37 2.62	2112 1.67
五類 アメーバ赤痢			3 0.21	1 0.29	1 0.29	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.67	0 0.00	264 0.21	5 0.35	529 0.42
カルバペネム耐性 腸内細菌感染症	○		9 0.64	1 0.29	7 2.01	0 0.00	1 0.44	0 0.00	0 0.00	0 0.00	833 0.66	25 1.77	2038 1.62
クロイツフェルト・ ヤコブ病			1 0.07	0 0.00	1 0.29	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	94 0.07	1 0.07	178 0.14
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○		8 0.57	2 0.58	5 1.44	0 0.00	1 0.44	0 0.00	0 0.00	0 0.00	386 0.31	12 0.85	646 0.51
後天性免疫不全 症候群			3 0.21	0 0.00	3 0.86	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	464 0.37	8 0.57	1047 0.83
侵襲性肺炎球菌感染症			11 0.78	3 0.88	3 0.86	1 0.70	1 0.44	0 0.00	3 2.00	0 0.00	663 0.53	16 1.13	1388 1.10
水痘(入院例)			2 0.14	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.65	1 0.67	0 0.00	169 0.13	11 0.78	298 0.24
梅毒	○		29 2.06	8 2.34	10 2.88	1 0.70	7 3.09	0 0.00	3 2.00	0 0.00	5883 4.69	46 3.25	7873 6.24
播種性クリプトコッ クス症	○		1 0.07	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.44	0 0.00	0 0.00	0 0.00	76 0.06	0 0.00	159 0.13
百日咳			6 0.43	3 0.88	0 0.00	0 0.00	3 1.33	0 0.00	0 0.00	0 0.00	276 0.22	8 0.57	746 0.59

- vi. 今年第1週以降に診断された感染症の累積報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に「今年累積報告数」、下段に「人口10万人当たりの累積報告数」を示しています。
- vii. 今年と過去5年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記

【参考】今週の学校欠席者情報収集システム（保育園サーベイランス含む）概況（滋賀県）

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校等欠席者・感染症情報収集システム(https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php)へ毎日入力いただいています。入力いただいたデータを、本感染症週報と同期間について、集計して掲載しています。



図：学校欠席者情報収集システム（保育園サーベイランス含む）において登録数の多い疾患

【全国情報】国立感染症研究所 感染症疫学センターHPに掲載されています。

感染症発生動向調査 週報(IDWR)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

病原微生物検出情報(IASR)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr.html>

インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者数)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/flu-flulike.html>

【届出対象疾患】厚生労働省 HPに掲載されています。

感染症法に基づく医師の届出のお願い

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html

滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。

本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

滋賀県感染症情報センターHP:

<https://www.pref.shiga.lg.jp/eiseikagaku/kansensyou/>



イラストは滋賀県健康づくりキャラクター「しがのハグ&クミ」